

令和 2 年度大旭支部会員会費報告

地区名	法 人	特 別	一 般	金額合計
矢 野 下 藤 株			17,000	17,000
矢 野 下 下 郷		3,000	77,000	80,000
大 沢 上 1		3,000	100,000	103,000
大 沢 上 2		5,000	62,000	67,000
大 沢 上 3		3,000	47,000	50,000
大 沢 下 1	39,000	18,000	97,000	154,000
大 沢 下 2			117,000	117,000
八 幡 台 1			68,000	68,000
八 幡 台 2			81,000	81,000
若 狭 山 団 地		15,000	34,000	49,000
旭 台	15,000	3,000	133,000	151,000
旭 台 団 地 1		3,000	56,000	59,000
旭 台 団 地 2			64,000	64,000
旭 台 団 地 3			64,000	64,000
旭 台 団 地 4		3,000	30,000	33,000
旭 平 1			216,000	216,000
旭 平 2		3,000	96,000	99,000
旭 平 団 地			40,000	40,000
旭 崎 1	16,000	20,000	131,000	167,000
旭 崎 2			28,000	28,000
緑 ケ 丘 団 地			15,000	15,000
サ ン ス テ ー ジ			19,000	19,000
矢 野 下 本 郷			2,000	2,000
合 計	70,000	79,000	1,594,000	1,743,000

令和2年度
会員会費の
報告とお礼

令和2年度の社会福祉協議会・会員会費募集に際しましては、皆様方の温かいご理解とご協力を頂き心から感謝申し上げます。

社に対する深いご理解のたまものと、心から厚くお礼申し上げます。

この交付金は、支部の事業に大切に活用させていただき、今後とも皆様方のご理解とご協力を、重ねてお願い申し上げます。

◆茨城県立中央病院を応援
笠間市と市社会福祉協議会は、新型コロナウイルス感染症治療の最前線になう県立中央病院をエール募金活動で応援。当大旭支部（3万円）と同女性部（10万円）はこの活動に協力し、募金を行いました。

お蔭様で左表のとおり、会員会費をいただくことが出来ました。これも、皆様方の福

金は、還元金と福祉コミュニティ助成金ならびに広報助成金の合計額、100万8650円が交付されました。

支部長 大垣 茂

◆表彰者の紹介

市社会福祉協議会から当大旭支部内で、次の方が表彰されました。（敬称略）
小松崎洋二・成田恵子・吉田正次
※募金と表彰者の詳細は、市社協の「かさま社協だより No.44号」を参照して下さい。

◆広報委員の募集

大旭支部の広報委員を、募集しています。活動は企画・取材・編集などで、地域の情報を会員の方々にお知らせしています。
広報紙作成に興味のある方は、ぜひ参加して下さい。
連絡を、お待ちしております。
連絡先 市社会福祉協議会支部担当まで

☎0296770730

第123号

笠間市社会福祉協議会大旭支部
発行 大旭支部長 大垣 茂
編集 大旭支部広報委員会
発行日 令和3年3月31日
印刷 有限会社大塩企画



旅立ちにそなえて

川柳

親切も 積もり積もれば お節介
下手がいい 下手でいい そんな言葉に その気になって
一生俺についてこいと言った夫 今では後からついてくる
まあ元気 どこへ行こうか まず病院
食後には おやつのように 飲む薬

もくじ

三世代で美しい花壇を(旭台子ども会) 高齢者とのふれあい活動 2頁
コミュニティ・スクールの実現に向けて 介護用品をお配りしました 3頁
令和2年度会員会費の報告とお礼 茨城県立中央病院を応援 表彰者の紹介
広報委員の募集 4頁

三世代で 美しい花壇を 旭台子ども会



整美が進む花壇

花が咲く花壇を待ち望んでいました。
そこで、子ども会役員（小林美帆会長、大和田貢区長、花栽培に関心のある地域協力者で、花壇の整備・管理について相談をしました。感染防止のため主に電話で連絡を取り合いました。

【相談した内容と経過】 1 準備

整地：土壌づくり、肥料入れ、除草作業
2 1年間の花壇づくりの流れ

○花壇の設計図（デザイン）
5月～10月：コキア中心
11月～5月：ハボタン、ハクサイの花を中心
＊アジサイ、シャガ、シユウカイドウ、スイセンなど



花いっぱい運動事業認定花壇

どを定植（四季、色を考慮）
○子ども会、地域協力者で連絡を取りながら管理（予算、除草、水やりなど）
11月29日（日）10時から、感染対策の上、6年生を中心として7人の子どもたち、子ども会役員4人、協力者4人でハボタン移植を実施しました。花栽培の経験豊かな協力者に教えていただきながら、子どもたちも楽しく、協力しながら植えました。特に6年生にとっては卒業記念になったと思います。
多くの制限のある状況でも、三世代で相談し、アイディアを出し合えば、小さい場所ですが、三世代交流の場が生まれ、美しい花を咲かせることができました。

高齢者との ふれあい活動 女性部が3度目の訪問



マスクとマスクケース

コロナ禍で「ふれあいサロンなごみ事業」を中断してから約一年。大旭支部女性部が高齢者宅を訪問し、本年度3度目のふれあい活動を行いました。

令和2年12月、訪問の際プレゼントに添えられた、お便りの全文を掲載しお知らせします。

＊

皆さんお元気ですか？

サロンなごみもなかなか再開の目途が立たずにとても淋しく思います。

昨年の12月、楽しかったクリスマス会を思い、今年はいくつでもクリスマスを祝っていたらどうとプレゼントを用意しました。笠間市社協にも協

介護用品を お配りしました。

「在宅介護者との ふれあい事業」

大旭支部では、本年度も「在宅介護者とのふれあい事業」を行いました。

この事業は、平成20年度から28年度まで、介護者の参加を得て、会合による対話形式で行われてきましたが、介護者から、会合に出席する余裕が無い等との声が寄せられたため、29年度から、民生委員・児童委員が、各介護者宅を訪問し、記念品を配布する方法に改め、現在に至っております。

令和2年12月、大旭支部一同の「添え書き」を添えて、介護の必需品であるタオルを17戸に配布させていただきました。



介護用品

添え書き

在宅介護者の皆様へ

笠間市社会福祉協議会

大旭支部役員一同

寒気厳しき折、在宅介護者の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。気の抜けない毎日かとお察いたします。

また、大旭支部の運営には深いご理解をいただき、感謝申し上げます。

さて、本年度も日頃のご苦労を思い、ささやかではありますが、タオルを贈らせていただくことといたしました。介護の際に、お役に立てば幸いです。

長期にわたるコロナ禍のなか、ご苦労も増しているかと思いますが、健康に留意されますようお願い申し上げます。挨拶いたします。

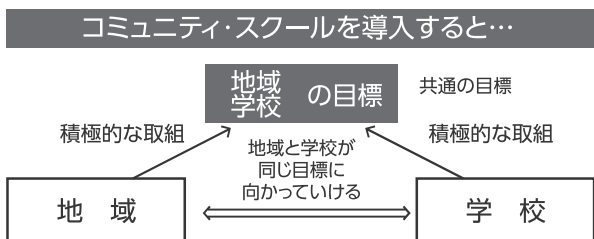
この事業については、民生委員・児童委員のご協力をいただきました。
厚く御礼申し上げます。

コミュニティ・スクールの 実現に向けて 友部第二小学校 教頭 結解一憲

いよいよ令和三年度四月から友部地区の小中学校で「コミュニティ・スクール」（学校運営協議会）がスタートします。現在、小学校では、その組織づくり等の準備を進めています。

「コミュニティ・スクール」とは、学校の運営方針等に地域の皆さんの意見や願いを反映させていく、新しい形の学校のことです。「地域とともにある学校」とも言われます。

友部二小の子どもたちは、未来の笠間をつくっていく大人になります。皆さんは、子どもたちにどんな人に育ってほしいでしょうか。未来の笠間は、どんなまちになってほしいでしょうか。地域全体で子どもたちの未来と地域の未来を考え、社会総がかりで子どもを育てていくというのが、コミュニティ・スクールの考え方です。



コミュニティ・スクールになると、学校・家庭・地域の連携がより活発になり、様々な効果が期待されます。

また、先進的に取り組んだ学校への調査によると「学校と地域が情報を共有するようになり、特色ある学校づくりが進んだ」等の回答が八〇九割を超えます。（平成二十七年文部科学省委託調査）

さらに、学校の教育活動が豊かになるだけでなく、地域の人々が学校に関わることで、地域づくりも進むというWin・Winの関係も期待

されます。

続いて、組織や委員について説明いたします。コミュニティ・スクールでは校内に「学校運営協議会」という会議を設置して、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い連携・協働しながら進めていきます。委員に関しては、「学識経験者・学校通学区に居住する市民・保護者・学校運営に資する活動を行う方」の中で、校長が推薦し、笠間市教育委員会が任命します。

現在でも、友部二小では、大旭支部や区長会の皆様を中心に学校支援・交通安全ボランティアが充実し、学校にたくさん協力していただいています。本当にありがとうございます。

来年度からは、コミュニティ・スクールを運営することによって、今まで以上に地域の方々と連携を図り、友部二小の教育活動を充実させていきたいと考えます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。